



## 平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウイズ

コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横井昭裕

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 大関浩一

TEL 03-3534-3180

四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	189	△3.4	△87	—	△104	—	△104	—
27年5月期第1四半期	196	△42.5	△113	—	△115	—	△116	—

(注) 包括利益 28年5月期第1四半期 △106百万円 (—%) 27年5月期第1四半期 △115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年5月期第1四半期	△34.07	—
27年5月期第1四半期	△37.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年5月期第1四半期	1,506	723	48.0	234.75
27年5月期	1,571	829	52.8	269.26

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 723百万円 27年5月期 829百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
第2四半期(累計)	400	△49.1	△160	—	△160	—	△166	△53.87
通期	1,600	△8.1	10	—	10	—	7	2.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期1Q	3,081,600 株	27年5月期	3,081,600 株
② 期末自己株式数	28年5月期1Q	— 株	27年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期1Q	3,081,600 株	27年5月期1Q	3,081,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績及び雇用状況等は改善傾向に推移し、緩やかな景気回復の状況にありました。

このような状況のもと、玩具市場は、個人消費の増加等を反映し、業界全体としては堅調に推移しております。

当社グループにおいては、ここ数年の業績低迷を打破すべく、引き続き、当連結会計年度も固定費の削減に努め、基幹事業であるOEM製品販売に加え、オリジナル商品販売事業の成長拡大のために経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するとともに、将来に向けた事業基盤の再構築を目指しております。

当第1四半期連結累計期間は、OEM製品販売は、平成27年7月18日より「TAMAGOTCHI 4U+」を発売し、それを含めほぼ計画通りに進捗しました。その他、オリジナル商品販売は「Yuki Yuki (ゆきゆき)」等を販売し、全体として堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1億89百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

利益面におきましては、営業損失は87百万円（前年同期は1億13百万円の営業損失）、経常損失は、当第1四半期連結会計期間より持分法適用会社となったピップ&ウィズ株式会社の持分法による投資損失等を含め1億4百万円（前年同期は1億15百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億4百万円（前年同期は1億16百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ65百万円減少し、15億6百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が52百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ41百万円増加し、7億82百万円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の減少35百万円、長期借入金の減少32百万円があった反面、短期借入金が1億60百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億6百万円減少し、7億23百万円となりました。これは、主に当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金の減少1億4百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しており、平成27年7月3日に発表いたしました数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、新規取得したピップ&ウィズ株式会社を持分法の適用の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前々連結会計年度より当期純損失を計上するとともに、当第1四半期連結累計期間においても営業損失87百万円、経常損失1億4百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失1億4百万円を計上しております。これらの状況により、当社には継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

- ① 売上高の拡大
- ② 固定費の削減
- ③ 資金繰りへの対応

上記のうち「① 売上高の拡大」につきましては、OEM製品販売において、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」「デジモン」等の主力シリーズの新製品開発に注力し、一定額の売上高及び売上総利益を確保することに努めてまいります。また、シニア層も意識した幅広い年齢層をターゲットにしたオリジナル商品の開発及び販売を売上拡大の柱にし、新規販売ルートの確立、そのための体制及び人材の強化を図っております。これからもそれら施策を含め、売上高の増加に継続的に取り組んでまいります。

「② 固定費の削減」につきましては、当第1四半期連結累計期間に大幅な削減を実現しましたが、引き続き固定費の支出を抑えるための取り組みに努めてまいります。

「③ 資金繰りへの対応」につきましては、個別の資金手当の可能性を幅広く検討しておりますが、当面の間、現状の現金及び現金同等物の残高にて、運転資金及び借入金の返済等は十分に賄える予定であります。

以上により、また、当第1四半期連結累計期間における業績についても概ね予想どおりに推移しているため、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	743,230	736,002
受取手形及び売掛金	95,909	43,341
商品及び製品	43,140	37,229
仕掛品	12,703	7,941
原材料及び貯蔵品	14,034	14,584
その他	27,912	25,976
流動資産合計	936,931	865,075
固定資産		
有形固定資産	26,125	25,164
無形固定資産	1,480	1,406
投資その他の資産		
投資有価証券	519,725	527,704
その他	87,133	86,882
投資その他の資産合計	606,859	614,586
固定資産合計	634,464	641,157
資産合計	1,571,395	1,506,233
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,405	19,495
短期借入金	90,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	182,720	147,030
その他	87,369	34,472
流動負債合計	376,495	450,997
固定負債		
長期末払金	265,526	265,526
長期借入金	50,475	18,405
退職給付に係る負債	48,650	47,042
その他	502	862
固定負債合計	365,154	331,836
負債合計	741,649	782,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	△307,679	△412,658
株主資本合計	834,990	730,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,050	1,053
為替換算調整勘定	△6,294	△7,666
その他の包括利益累計額合計	△5,243	△6,612
純資産合計	829,746	723,399
負債純資産合計	1,571,395	1,506,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	196,463	189,722
売上原価	119,964	127,117
売上総利益	76,499	62,604
販売費及び一般管理費	190,039	150,225
営業損失(△)	△113,539	△87,621
営業外収益		
受取利息	72	20
受取配当金	425	470
為替差益	—	2,059
その他	62	307
営業外収益合計	560	2,857
営業外費用		
支払利息	2,309	2,111
為替差損	155	—
持分法による投資損失	66	17,025
債権売却損	—	186
その他	—	78
営業外費用合計	2,530	19,402
経常損失(△)	△115,510	△104,166
特別損失		
固定資産除却損	10	137
特別損失合計	10	137
税金等調整前四半期純損失(△)	△115,521	△104,303
法人税等	675	675
四半期純損失(△)	△116,196	△104,978
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,196	△104,978



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
四半期純損失(△)	△116,196	△104,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162	3
為替換算調整勘定	391	△1,371
その他の包括利益合計	554	△1,368
四半期包括利益	△115,642	△106,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,642	△106,347

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)  
当社グループは、おもちゃ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
  
- II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)  
当社グループは、おもちゃ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。